

保護者委員体制への変更提案



概要

1. 現状組織の問題点
2. 補習校のあるべき姿
3. 新委員体制提案



1. 現状組織の問題点

1) 運営委員が学校運営、経営についての業務が十分にとれていない

→ 運動会、学習発表会等の行事企画/準備、その他の日々の学校内諸業務にパワーを取られすぎている

a) 運営面

* 教員の確保、クラスの確保(高校、バイリンガル等)の活動

- 8月より中1担任: 運営委員の松山さんが担任へ変更
- 永住の児童対応 バイリンガル ジュニアクラス設置の検討
- 中学の生徒数少 → 複式授業他対応検討

* 学校必要備品(図書含む)の整備、管理

- 図書: 新システムを導入し効率化。
ただし、メンテ、新規図書の必要性検討や廃棄図書管理等の全体の管理は手薄。
- その他: 図書以外の備品の全体管理、短期/長期計画が手薄

b) 経営面

* 授業料、教員謝礼の見直し、企業寄付等収入源の確保

2) 運営委員に諸業務が集中することのリスクを少なくしたい

- 図書貸し出し関連
- 運営委員不在の場合(土曜日を含んだ長期出張)もある。
- 会社指示等により急遽帰国となるケースの考慮が必要



1. 現状組織の問題点

3) 保護者ボランティアの力を活かしてきていない

保護者 ボランティア	現状	課題
安全	全員でローテーション	監視場所、時間で抜けがあるケース ローテーションでの対応に限界？
図書	図書バザー: 15名 (のべ18名) 通常貸し出し/返却は全員で ローテーション	運営委員だけでは 全体の整備/管理が不足 担当運営委員が不在の場合のシステム不具合対応が できない (担当運営委員しか判らない)
運動会	34名	運営委員から保護者ボランティアへの連携が不足し、必要 なところに必要な人員、必要な仕事がこなせなかった。
学習発表会	13名	運営委員から保護者ボランティアへの連携が不足
ファンフェア	12名	(3学期実施予定)

**強化
必要**

- 安全、図書、行事といった面について、保護者にもっと深く関与して頂けると、より充実させることができる
- 保護者ボランティアについて保護者間での不公平感
やっている人とやらない人

保護者のご協力をもっと有効に得たい

2. 補習校のあるべき姿



「本校は在留日本人の**自助努力**で運営するオハイオ州非営利団体に則る非営利の学校法人で・・・」
(学校要覧より)

保護者立の学校……ということは、

* 保護者により、校舎の手配、クラスの設置、教員の採用、地域や外部団体との交渉含め運営／経営の全てを行う必要がある。

* 保護者の中から代表者をボランティアで募り、**運営委員会**を構成し、**運営／経営の主要部分を担う**。



運営委員以外の保護者には、これ以外の実務運営の一部を分担して欲しい。

具体的には、学校での安全管理、行事運営(運動会/ファンフェア)、図書整備・管理他の学習環境の整備、教員への支援をお願いしたい (一部は既に実施頂いています)。

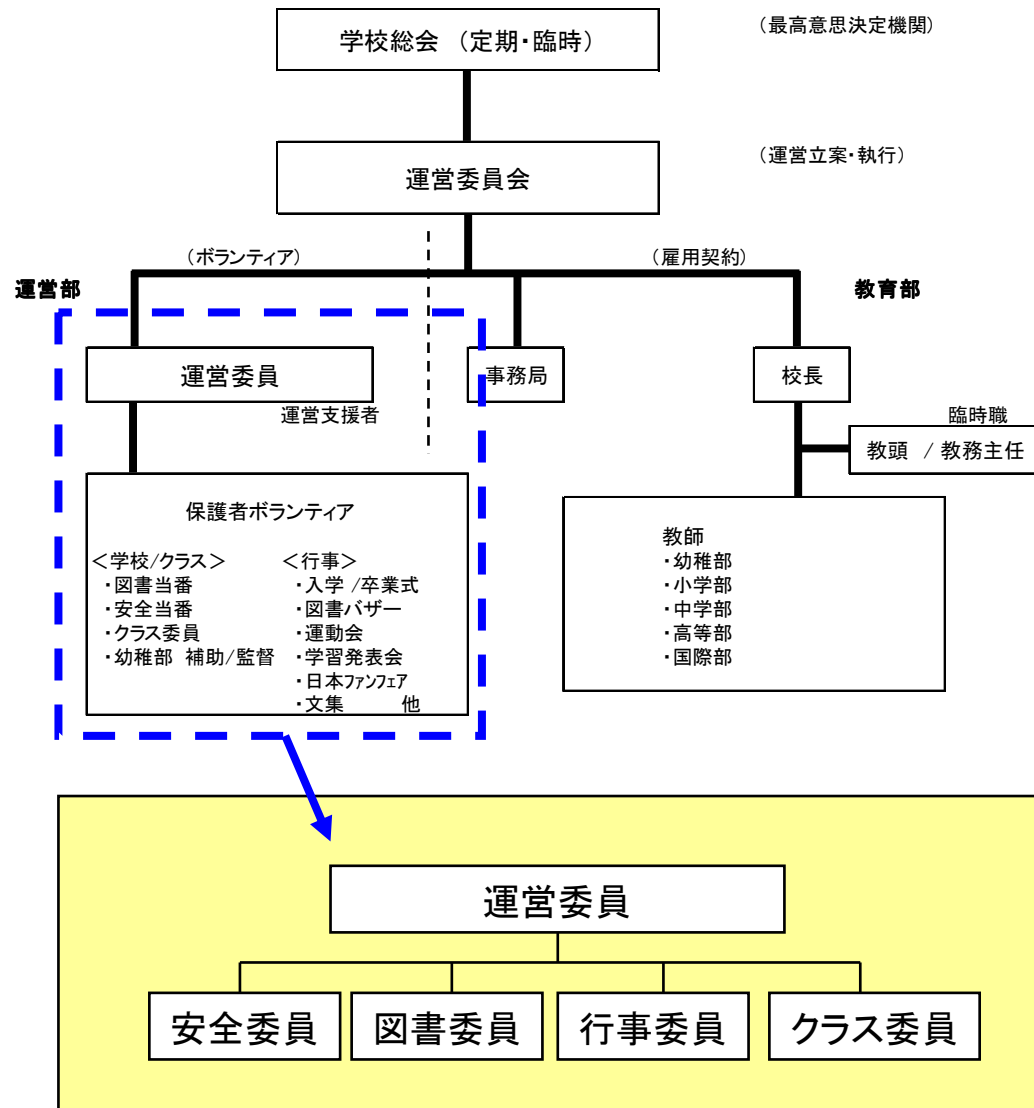
基本的に、自分のお子さんだけの為でなく、補習校に通う全ての子供達の為という考え方で、ご協力をお願いします。

私達保護者が皆で学校運営を遂行していくのが補習校のあるべき姿です。



3. 新委員体制 提案

クーパーランド日本語補習校 組織図



従来からの主な変更点 (案)

<運営委員>

運営／経営の主要部分を担う。
安全、図書、クラス、各委員の助言、フォローを行う。

<安全委員/図書委員/行事委員/クラス委員>

全ての保護者は、安全、図書、行事、クラス委員の何れかを担当して頂く。
運営委員より、必要に応じ助言を受ける。
予算は最終的に運営委員が管理。



3. 新委員体制 提案

現状		今回提案	役割り		
運営委員	7	運営委員	7	運営／経営の主要部分を担う。 安全、図書、行事、クラス委員の助言、フォローを行う。	
ボランティア	図書	15名 (のべ18名)	図書委員	(10)	図書の貸し出し業務、図書バザー運営、図書システムの整備／管理を行う。
	安全	全員で ローテーション	安全委員	(30)	従来の安全監視を委員にて実施。安全監視体制の整備。
	運動会	36	行事委員	(9)	行事の企画、運営をリード。必要に応じ、クラス委員と協力し、各行事のボランティアを確保。
	ファンフェア	14	クラス委員	13	クラス内保護者の代表(従来通り)。
クラス委員	13	保護者家族数合計	(69)		
2007年 保護者家族数合計	69				

()数字は、保護者家族数により変動。

委員には、幼稚部年少、年中も含まれます。